

イイ歯メーションNo. 10(平成14年11月発行)

「歯ぐきが腫れてきました。どうしたのでしょうか。」

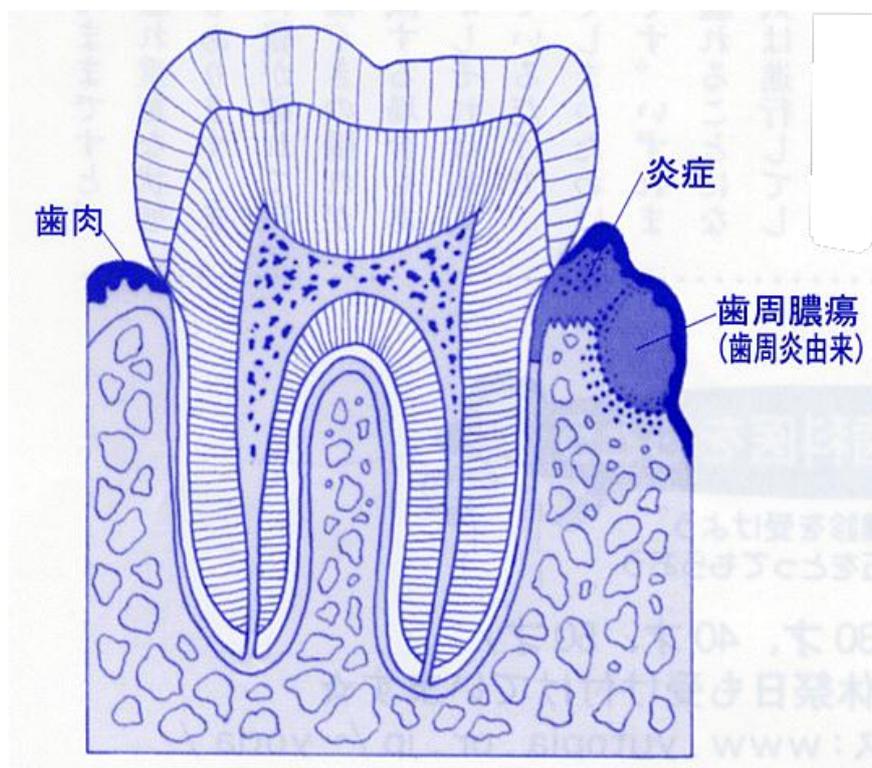
歯そのものの痛みではなく、歯ぐきが腫れて痛みを感じ、歯科医院を訪れる患者さんも少なくありません。今回はその「歯ぐきの腫れ」について説明したいと思います。口の中の病気で、歯ぐきの腫れを症状とするものは多くありますが、大多数の患者さんは、次の二つの病気から歯ぐきの腫れが引き起こされているようです。



歯槽膿漏から

一つめは、歯周病(歯槽膿漏)から歯ぐきの腫れが引き起こされている場合です。イイ歯メーションでも前に取り上げたように、歯周病とは歯垢(しこう)の中の細菌が、歯周組織(歯ぐきや歯を支えている顎の骨)に炎症を起こす病気のことです。進行するにつれ、歯ぐきの赤みは増し出血しやすくなり腫れていきます。放置されたままです

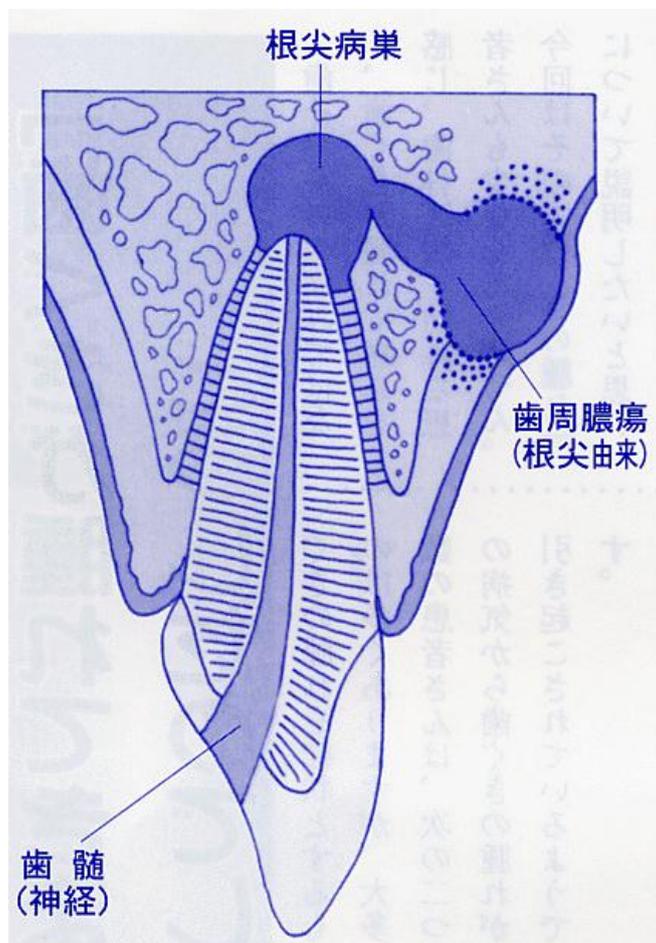
と、歯ぐきの下にある歯を支えている顎の骨が吸収され、やがて歯は抜け落ちてしまうこともあります。



根尖の病気から

二つめは、根尖病巣といわれる歯の根の先の病気から、歯ぐきの腫れが引き起こされている場合です。これは歯の神経が死んでしまった歯や歯の神経を抜いてある歯に起こりうるものです。体調がすぐれないなど身体の抵抗力が低下している時に、根尖病巣が急性化し歯ぐきの腫れを引き起こすものです。歯ぐきの腫れのほか、物を噛んだ時の痛みや、歯が浮いたような感じがすることもあります。二つの病気のいずれの場合も、歯ぐきの腫れを放置しておくわけにはいきません。放置したままですと、更に大きく腫れ重篤な状態に陥る場合もあります。また逆に自然に膿が破れて出てしまい、歯ぐきの腫れが一時的に軽減する場合もあります。しかしそれは病気が慢性化しているだけで、決して治ってしまったわけではないのです。いずれまた歯ぐきが腫れることになり、更に病気は進行してしまうのです。まれにですが、口の中の腫瘍が原

因で歯ぐきの腫れが出る場合もありますので、歯ぐきの腫れを感じたら、まず何が原因で歯ぐきの腫れが引き起こされているのか、早めにかかりつけの歯科医院で診断してもらう必要があるでしょう。その上で適切な処置を受けることが大切だと思います。



かかりつけの歯科医をもとう

- ★定期的に歯の健診を受けよう
- ★年に一回は歯石をとってもらおう



☆各市町村の成人歯科検診 (30才、40才、50才)
は休祭日歯科当番医にて、休祭日も受け付けています☆
歯科医師会ホームページアドレス: www.yutopia.or.jp/~yoda/